

万博利用者のケア万全

UFJ銀出張所

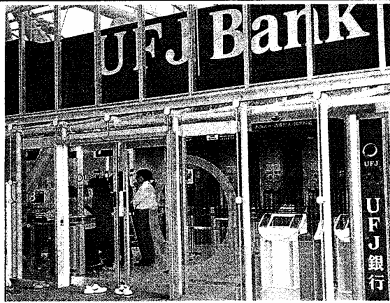
UFJ銀行は、愛・地球博(愛知万博)長久手会場に設ける出張所「愛・地球博店」に、高齢者や体の不自由な人も快適に利用しやすいよう「サービス・ケア・アシスタント」の資格を取得した行員十六人を配属する。同店の全スタッフで、行員すべてがこの資格を持つ銀行店舗は全国で初めて。来店者に気を配り、きめ細かい親切な対応で「すべての人が輝ける銀行」を目指す。

全行員が

「介助資格」

地球博店は、万博スタッフで、パピオンなども紹介向けに、開館に先立介できる接客係「コンシェルジュ」に開業する。エルシユや英語通訳がサービス・ケア・アシスタントは全日本能率連リオンで働く外国人スタッフが認定する資格。介助や支援の必要ない、状況に応じた誘導、助言、ピクや大阪万博など歴史的な記念硬貨約四十種類を展示。慶長小判など日本貨幣にまつわる映像は、万博出店に合わせ行員が操作で来店者がパネルの操作で来店者が楽しめる仕掛けにする。

このほか環境ビデオの放映や、店舗のガラス壁面が流れ落ちる「ウォーター・ウォール」など、万博テーマの「自然の叢生(えいち)」も意識して、既存店にない演出を採用している。店長に就任予定の柳本真佐人さん(仮)は「今後は銀行サービスのあり方を考える。万博ならではの遊び心も採り入れ、お客さんに気持ちよく使って喜んでもらえるよう、サービスを提供したい」と意気込んでいる。



開店に向け準備が進む、UFJ銀行愛・地球博店。愛知万博長久手会場。